

トップ  
コミットメントサステナビリティ  
推進体制JFRの  
マテリアリティ低炭素社会への  
貢献サプライチェーン  
全体のマネジメント地域社会との  
共生ダイバーシティ  
の推進ワーク・ライフ・  
バランスの実現事業会社の  
ESGの取り組み社外取締役  
メッセージ

ガバナンス

データ集

地域とともに成長し共生する → ESGモデル店舗を核とした街づくり 次世代支援と地域活性化

## ESGモデル店舗を核とした街づくり

### 心齋橋の新たなランドマーク 大丸心齋橋店本館

心齋橋で開業してから約300年の歴史をもつ大丸心齋橋店は、2019年9月、世界と未来に向けて進化する百貨店としてグランドオープンしました。個性溢れる専門店計368店舗が出店し、関西初、新業態の店舗が集結した心齋橋エリアのランドマークとして生まれ変わりました。コンセプトは「Delight the World ～世界が憧れる、心齋橋へ～」です。心齋橋の魅力さをさらに高めていくことが、新しい大丸心齋橋店が目指す姿です。

大丸心齋橋店本館は、ヴォーリズ建築、おもてなしの心など、長く愛されているものを受け継ぎながら、建物やビジネスモデルなどでは、最新のものを導入しました。また、環境に対する取り組みにおいても、再生可能エネルギーの使用、全館LED化など、これからの時代のモデルとなる店づくりを行いました。

今後も、時代とともに変化するお客様の生活や嗜好に合わせて、常に新しい価値を提供していくことを目指していきます。



大丸心齋橋店本館

### ミラノ・フォーリサローネとのコラボレーション

2019年10月、世界最大のデザインの祭典「ミラノ・フォーリサローネ」とパートナーシップを結んだ「OSAKA×MILANO DESIGN LINK (大阪ミラノデザインリンク)」を発足しました。世界一のデザインの祭典「ミラノ・フォーリサローネ」とコラボレーションし、地域の各団体、自治体と地域の活性化に取り組めます。国際都市への成長を遂げる大阪の中心から新しいムーブメントを生み出し、アートとデザインを軸に「大阪を世界のOSAKAにする」試みとして長期にわたり取り組んでいきます。

### 次世代型商業施設 新生渋谷パルコ

渋谷パルコは、1973年にオープン以来、「インキュベーション」「街づくり」「情報発信」に取り組み、街を刺激し、同時に刺激をもらいながら渋谷の発展の一翼を担ってきました。この3つの取り組みはパルコのDNAであり、原点であり、進化し続けるパルコの信念ともいえます。

新しい渋谷パルコは、地下1階～地上8階・10階一部を商業部分、9階をクリエイティブスタジオ(育成施設)、1階(エントランス)、10階一部および12階～18階をオフィスとする地上19階・地下3階、延べ床面積約64,000㎡の公園通りのシンボルとなる施設として、ビルのハード・ソフトの両面から、街づくりに貢献していきます。

ハード面では、周辺の歩道や敷地内の広場を整備し、歩行者のスペースを拡充することによって、街歩きしやすい環境を作り、地域のにぎわいの創出をはかります。また、地域荷さばき場や駐輪場をビル内に設けることで、街歩きの妨げとなっている路上荷さばきや路上駐輪などの地域の課題に取り組んでいます。

一方、ソフト面では、ビルに設置した屋外広場で地域と連動したイベントや、ファッションショー、音楽、フードイベントなど幅広いジャンルのイベントの開催を通じて、街の活性化に貢献していきます。



渋谷パルコ